

協同

[特集] 持続可能な農業と地域づくりへの挑戦
第35回兵庫県JA大会決議Part 1

2022
Feb
KYODO 2



タッグ! 兵庫の農業人

長期安定出荷や省力栽培技術の普及により、農業所得拡大をめざす

Farmer × JA staff
山本 晃大さん
田中 竜也さん
詳細は
裏表紙へ

兵庫の農業人

生産者の皆さんとタッグを組んだ
多様な営農活動を紹介します。

タッグの様子は動画でも配信中心!

YouTube 兵庫の農業・農協発信ch 検索



今月は JA淡路日の出

長期安定出荷や省力栽培技術の 普及により、農業所得拡大をめざす

収穫前のストックの生育状況について話す山本さん(左)と田中さん



生産者

ストック生産者

山本 晃大さん

ストック栽培でのやりがいは、自ら栽培した花を人々に喜んでもらえることです。これからもたくさんの人にストックの魅力が伝わるように品質向上に努めていきます!

JA職員

JA淡路日の出 統括経済センター
営農販売1課 花卉専任担当主任

田中 竜也さん

持続可能な農業に向けて、農業者所得や農業生産の拡大、地域農業の活性化を目標に部会活動などに力を入れ、淡路地域が全国で有数のストック産地となるように頑張ります!

JA淡路日の出は、瀬戸内海の温暖な気候のもと、花卉生産においてカーネーションやキク、ストックなど多彩な品目が栽培されている。中でも、仏花として需要の高いストックの栽培が盛んである。地域の特性をいかした二期作栽培が特徴で、11月頃から6月下旬までストックを長期間で出荷している。淡路地域オリジナル品種「淡路シリーズ」をはじめとする晩生品種の普及もあり、長期安定出荷と市場性の高い商品の生産拡大を実現している。

淡路市の山本晃大さんは、祖父母の代から続くストック栽培を5年前から家族とともにやっている。30aのストックを栽培する山本さんは、一昨年から新たに頭上灌水設備を導入し、品質向上と作業の省力化に積極的に取り組んでいる。「ストックは水の量によって茎の太さや長さが大きく変わってくるが、自動灌水装置へ転換したところ、手灌水時と同水準以上の品質を確保しつつ、作業時間の大幅な短縮につながった」と話す。

高品質なストック生産のために、JA職員との情報交

換が欠かせない。同JAの統括経済センターで花卉の専任担当している田中竜也さんは、7年前から花卉の販売や栽培指導を行っている。農業者の所得拡大に向けて、生産者のほ場を積極的に訪問し、栽培技術や作業省力化の提案などを行う。山本さんは「市場や他産地の情報などをいつも教えてもらい、とても助かっている」と話す。

JA淡路日の出は、地域の特性をいかした栽培技術や作業省力化等により農業所得の向上と農業生産の拡大へ向けて取り組む。

JA淡路日の出のストック栽培に関する取り組み

ストックの長期安定出荷や品質向上により
農業者所得や農業生産の拡大をめざす

ストックの二期作栽培による安定出荷と
省力栽培技術の普及等による
高品質で安定した農作物の生産により、
農業所得や農業生産の拡大へ向けて取り組む。